2026年度 ピカ☆イチProject採択団体

No.	プロジェクト名	団体名	企画の概要
1	キャップ隊@KUFS	Cap Squad	学内におけるペットボトルキャップの分別・回収を推進し、それを学生・教職員が継続できる「習慣」として定着できることを目指す。回収したキャップをリサイクル資源として寄付し、世界の子どもたちへワクチンを届けるJCV（認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会）の活動と連携することで、一人ひとりの小さな行動が具体的な国際貢献（医療支援）に結びつくということを実感できる機会をつくる。
2	多言語多文化絵本読み聞かせ活動	多言語読み聞かせのお部屋	地域の方に世界の多様性を知ってもらうとともに、私たち学生の知識や言語能力を活用し、地域の施設との連携を通じてコミュニティに貢献する。また、私たちが次世代や社会に伝えたいことを模索し、多文化共生社会の在り方について考えるきっかけを作る。
3	学内外において多様性を尊重する環境づくり	G-Roots ~外国にルーツを持つ外大生の会	日本の学校教育を受けて育った外国にルーツを持つ外大生同士が交流を持ち、外国にルーツを持つ外部の子どもたちとの交流イベントを企画する。外国にルーツを持つ親に対しても、外大生が自らの経験を語ることで、日本社会で外国にルーツを持つ子どもたちが直面する課題を共有する。また、日本人の小中高生には私たちのルーツの文化や言語を知ってもらい、暮らしやすい社会の実現を目指す。
4	Shree Kalika International Project	Shree Kalika International Project	ネパールの農村地域に住む子どもたちの多くは、経済的な理由により学校へ通い続けることが困難な状況に置かれている。私たちの活動は、そのような子どもたちの教育環境を改善し、継続して学べる環境を提供することを目的とする。
5	絵本と言語を通して世界の平和を	PCC	カンボジアの子ども達の将来を広げるため、絵本を自作して手渡しする。また、日本の子ども達にも絵本を手渡し、異文化や多様性への理解を深めてもらう。国内外の両方の活動にさらに力を入れ、言語や絵本を通じた交流を広げていく。
6	Laos-Link Project	Via	「国際理解・他者理解」「社会貢献・ドネーション」「交流・コミュニティ形成」の3つを軸に、学生が主体となって社会課題に向き合い、継続的に行動できる環境を創出することを目的とする。単なる支援活動や、「遠い国の問題」ではなく、「自分たちとつながる課題」としてラオスの現状を理解し、継続的に関わっていく。